



## ロータリーの夢を 追いつけよう

1998-99年度 国際ロータリーのテーマ

第2560地区  
ガバナー——富山 富一  
会長——細井 増雄  
会長エレクト——長谷川 有美  
副会長——斎藤 弘文  
幹事——西山 徳厚  
副幹事——藤田 紘一  
S A A——高森 章仁  
副 S A A——五十嵐 寿一

例会日——毎週水曜日 12:30～  
例会場及び——三条市旭町2-5-10  
事務局——三条信用金庫本店  
例会場——TEL 35-3311  
事務局——TEL 35-3477  
FAX 32-7095

本日出席会員数	77名中 53名
先々週出席率	88.16%

### ビジター

三条南より  
坂本洋司さん、坂井範夫さん

三条北より  
山上茂夫さん

### 先週のメイクアップ

2/25 燕へ  
外山一郎さん、松谷昊吉さん、  
山田富義さん

2/27  
米山奨学セミナーへ（長岡）  
杉野奎司さん

2/28  
青少年奉仕委員会引継会へ  
佐藤吉平さん



3/1 三条南へ  
五十嵐晋三さん、古沢富雄さん、斎藤弘文さん  
3/2 三条北へ  
渡辺宏策さん、渋谷正一さん、福井良英さん  
3/2 東京北へ  
林 光輝さん

### 会長挨拶



#### 細井増雄会長

ご挨拶申し上げます。南クラブの坂本さん、坂井さん、北クラブの山上さん、ようこそいらっしゃいました、ごゆっくりお過ごし下さい。たいへんよいお天気になりました、1月2月の半ばにもこういったお天気がございましたが、さすが3月になりましたこういった日が続きますと、

なにか明るい気分になってきます。また、ゴルフのお好きな方は、そろっと腕がなってくるのではないのでしょうか。

本日は3月3日雛祭りの日でございます。雛祭りと言うのは、五節句の一つでございます、この始まりは中国から鎌倉時代の初め頃に伝来したそうですが、一般に定着したのは元禄、享保の頃だそうでございます。また、11代将軍家齊が非常に女の子が多かったために、将軍家が奨励したようなかたちで、文化、文政の頃に全盛期を迎えたと云うことです。尤も、将軍家齊は女の子が多いと申しましても、側室が五十数名、子供が百数十人おったそうですので、女の子も多くなる訳です。

私も前に聞いたことがあるのですが、内裏雛の男性と女性、どちら側に男性を飾るのが正式なのか、いまだによく分かりません。普通、結婚式でもそうですが、皇室では天皇陛下が向かって左側におられます。古いしきたりがのっこっているところでは、内裏雛の男の方が右側にくるのが本当と云う所もあるわけで、今日渡辺宏策さんがおられましたら、お聞きしようと思ったのですが、お顔が見えないようですので、鈴木さんその点はどうでしょうか。

どちらもあると云うことでしょうか。本日は雛祭りのことを少し述べましたが、第一例会で色々行事もございますので、このへんで終わらせて頂きます。

## 幹事報告

### 西山徳厚幹事

◎阿賀野川ラインロータリークラブ認証状伝達式典のご案内がとどいております。

とき 4月4日(日) PM12:30~  
ところ 阿賀の里 楽市じばんぐ

## ニコニコBOX



### 長谷川有美さん

3月1日、箱根、芦ノ湖の釣の解禁日、マス釣に行ってきた。何年振の晴天に恵まれ、大物は51cmで釣をたんのうして来ました。

### 樺山 仁さん

長澤会員の卓話に期待して。

### 早川昭雄さん

長澤さん、卓話御苦労様です。

### 佐藤 武さん

御雛様の次に何を飾るのか、雛段のかたづいた後の部屋の広さの空虚を思う。

### 加藤紋次郎さん

好況の国フィリッピンマニラで1年分のリフレッシュをしてきました。いよいよ春、ゴルフ同好会もスタートします。

### 五十嵐昭一さん

誠にすみませんが、都合により早退させていただきます。

### 藤田紘一さん

長澤会員、卓話ありがとうございます。会員の皆様、確定申告はお早目に!!

### 佐藤吉平さん

3月ローターアクト週間にちなんで、ロータリーの友と、ガバナー月信に、私の記事ののっております。ご一読下されば幸いです。

### 長澤 正さん

お話をさせて頂き、すこし勉強をしたことと、私のつたない話を聴いて頂くことに対して…。

3月3日分 ¥ 10,000

今年度累計 ¥ 493,000

## ロータリー財団ボックス

### 捧 賢一さん

孫が小学校入学致しますので…。

3月3日分 ¥ 1,000

## 卓 話

### 「運輸業界の動向」

### 長澤 正会員



私は日本通運に勤務し38年間、運輸関係に携わって参りましたので、運輸業界の動向を私なりに、纏めて見ました。

運輸業界は、不況業種に指定され雇用助成調整の対象業種となっております。

平成10年3月末現在のトラック運送事業者数は50,481社で、7年前の平成3年3月末が40,072社であり、規制緩和による新規参入が10,000社以上も増加したことになる。

また、平成5年3月以降6年連続して1,000社台を越えている。バブル崩壊後にこれほどの、開業率のある業種は他に見られないが、一方では廃業、合併等による撤退事業も増加している。

トラック事業者数の50,000社は、人口2,400人に一社の役割にあります。不況下の中他産業の事業者数が減少しているが、トラックの増加数は突出している。しかも事業経営は、厳しさを増しているにもかかわらずだ。

平成9年4月～平成10年3月までにトラック運送事業に新規参入した、事業者は2,476社と2年連続で2,000社の大台を超えた。既存事業者の廃止、合併等による撤退組が624社になったため1,852社の純増になったものです。

新規参入の2,476社の業種別を見ると  
一般……………2,161社(87.3%)  
霊柩……………225社(9.1%)  
特定……………89社(3.6%)  
特別積み合わせ……………1社

撤退事業 624社  
一般……………501社(80.3%)  
霊柩……………4社(0.6%)  
特定……………118社(18.9%)  
特別積み合わせ……………1社(0.2%)

事業者数の増加だけをみるとトラック運送事業は「活性化した産業」と思われがちだが、運輸省では物流量の伸びが不況で低迷しており、決して「活性化」とは言えない、(自動車交通局貨物課)状況だ。

しかし、なぜ毎年1,000社以上が新規参入する産業なのか。

運輸省は規制緩和によって「参入し易くなった」点を強調する。

経験と貨物確保の見通しさえつけば、「商売の

メドが立つとおもって参入してくる」事業者が多い。

不況業種に指定されながらも、増加するトラック運送事業者について「なぜ増加するのか」分からないままだ。

大企業と中小零細企業の格差が大きく、しかも規制緩和で激しい競争が展開されている業界はどこに行きつくのか。

トラック事業者の推移		
年度	事業者数	前年比
85	36,594社	531社
86	37,262	668
87	37,993	671
88	38,721	788
89	39,555	834
90	40,072	517
91	41,059	981
92	42,308	1,255
93	43,450	1,142
94	45,015	1,565
95	46,638	1,623
96	48,629	1,991
97	50,481	1,852

一方、我々のお客様である、産業界はどうか？地球温暖化対策や廃棄物処理問題など、今や環境問題は企業にとって避けて通れない重要な経営課題となっている。

ただ単に「環境に配慮した企業」といったうたい文句だけでは、消費者が納得しない時代が到来しつつある。

製造業にとっての最大の課題は、産業廃棄物をいかに排出しないかというリサイクル生産システムの構築にある。

理由としては

1. 地方自治体の廃棄物処理場が飽和状態となり、新たな処理場建設をめぐって住民訴訟が頻発し、企業の産業廃棄物の持ち込みに、厳しい目が光っている。

2. 資源、エネルギーの大量消費そのものが地球温暖化に、悪影響を及ぼす。しかも海外に資源を依存する日本にとっては、常にリスクが伴うほか、製造コスト面でも国際競争力を低下させる要因になる恐れがあるためだ。

だから、製造業にとっては、好むと好まざるとにかかわらず、リサイクル生産システムの確立は

必要不可欠のテーマにもなっている。

こうした、産業廃棄物処理問題の表面化に対応して政府が1991年以降、相次いで「リサイクル法」を施行してきたことも、企業のリサイクル促進に拍車を掛けている。

\*\*\*\*\*

「リサイクル法」「廃棄物処理法の改正」「省エネ・リサイクル支援法」「容器包装リサイクル法」「廃棄物処理・再資源化ガイドライン」「廃自動車処理リサイクル政策」等矢継ぎ早の制度化が続いた。

この、リサイクル生産システムの構築に最も熱心なのが、通産省です。

トヨタ、ソニー、日立、松下、IBM、等有力企業は、今後5年間で実用化されると、見ている。

設計-開発-生産-廃棄の生産システムから  
回収-分解-再利用-生産と言った逆工程の生産システムに転換されることになる。

このシステムが構築されると、日本の製造業ばかりでなく産業構造が様変わりする可能性もある。

自動車や家電製品、OA機器等の製品はほとんど、リサイクル製品に替えられていき部品や素材の中古市場が巨大な市場として誕生する事になる。

倉庫業も例外ではない。

従来の新商品を保管する役割に加え中古部品を保管する業務も急拡大することになる。これまで、自動車等の中古部品は、東南アジア諸国へ輸出されるパターンだったが中古部品そのものがビジネスの貴重な財産として生まれ変わる日がちかづいている。

このような、循環型経済社会を構築するには、「再製品」を抵抗なく受け入れるための消費者の意識改革が前提となる。

品質に厳しく新品にこだわる日本人だけに、中古品を利用した商品の品質・性能に対する消費者の不安感を何処までぬぐいされるのか？

このような業界の変化が激しい状況のなかに  
運送事業者が生き残るには、

1. 撤退した、ローコストの追求
2. お客様本位の品質・サービスの徹底  
最大の課題として鋭意努力している所です。

### 3月17日例会 <ゲスト卓話者略歴>

ごちょう動物病院院長 牛腸秀樹氏

・住所 三条市塚野目618-2

・生年月日 昭和34年2月19日生

昭和62年、三条市塚野目にて開院、現在に至る。

## 例会案内

---

三条RC	3月24日例会	外部卓話	(株)早川器物 専務 早川賛治殿
	3月31日例会	卓話	川瀬康裕会員

---

### メイクアップをどうぞ

---

三条南RC	3月22日例会	(振休) 休会
-------	---------	---------

---

	3月29日例会	会員卓話
--	---------	------

---

三条北RC	3月23日例会	会員卓話
-------	---------	------

---

	3月30日例会	会員卓話
--	---------	------

---

加茂RC	3月25日例会	通常例会
------	---------	------

---

	4月1日例会	通常例会
--	--------	------

---

燕RC	3月25日例会	通常例会
-----	---------	------

---

	4月1日例会	通常例会
--	--------	------

---

見附RC	3月25日例会	夜例会	於 ホテル つるや
------	---------	-----	-----------

---